

「ことばのカタライアル第5号」

「海洋技術コース2年生 キャリアトライアル」

令和元年9月11日(水)～13日(金)、海洋工学科海洋技術コース2年生17名が、キャリアトライアル(集中実習)でダイビング実習(ホバリング、5m潜降、タンクの充填)を行いました。

最終日は、3年生より機材のチェック、海の状況を把握して潜水するなどダイビングについて必要な安全について学びました。また、海洋実習(学校棧橋)では3年生と合同で、緊張感を持って取り組むことができました。

木村 翔

今回は2度目の集中実習で、学べたことが多くありました。1日目は復習をできていない人が多く、私たちのダイビングに対する真剣さが足りていないということに気付いた1日でした。ホバリングという新たな技術を学ぶことができました。2日目は海洋実習を行うための5m潜降のテストを行いました。初めての海でのスクーバダイビングでは、新たに学ぶことが多くありました。視界が悪い中、棧橋の下を潜るなど、あまり経験することはできないと感じました。3日目は3年生と合同実習を行いました。全員が3年生とバディを組み、学べる機会がとても多い実習となりました。プールでのスクーバダイビング、海でのスキンドайビングでは、3年生と泳ぐだけで安心感が違いました。3年生のようにバディを安心させることのできるダイバーになりたいと思いました。



須山 大貴

今回の3日間の集中実習では、主にダイビングを行いました。この3日間で多くの技術を学ぶことができました。ホバリングは自分の肺の中の空気とBCジャケットの空気を調節することがとても難しく、ホバリングをマスターできるように、練習が必要だと思った。スキン・スクーバサーキットでは、潜降の時にBCの空気を抜きすぎることがあったので、抜きすぎないようにインフレーターホースの使い方にも慣れていきたいです。今回の実習は怪我のためあまり参加できませんでしたでしたが、陸から見ることで得られるものも多くあったので、今後の実習に活かしたいと思います。



田中 海人

今回の集中実習は、最初に自分自身の課題を直す機会にするということをおバディ同士で話し合いました。私は、同じ注意をされないようにレポートを見直すと決め、実習に臨みました。ダイビングではホバリングを行い、BCが大きすぎてホバリングの時、左右にゆれて難しかったです。潜降は自分の息やBCに空気を入れて浮力調節をしたり、体を大の字にして水の抵抗を使ったりして調節することを学びました。海ではビーチからエントリーをしました。フィンを履くとき波にあおられるため、バディと協力してフィンを履きました。また、水中でホバリングをしているときに、波でバランスを崩して砂を舞い上げてしまいました。バディとの水中でのハンドシグナルは、手の届く距離で大きめにしないと相手に伝わらないことも分かりました。3日目、最後の立ち泳ぎは1分間でもきつく、先輩方は普通に泳ぎ、実力の差を感じました。



この3日間では、特にレポートに対する意識が前より格段に変化し、この意識を普段の実習や学校生活などに活かしたいと思います。